

神奈川県立岩戸支援学校における学校運営協議会開催結果

本校の学校運営協議会を下記のとおり開催した。

審議会等名称	神奈川県立岩戸支援学校における第3回学校運営協議会	
開催日時	令和7年11月18日(火) 9時30分～11時00分	
開催場所	神奈川県立岩戸支援学校 会議室	
出席者	神奈川県立岩戸支援学校 学校運営協議会委員 7名 神奈川県立武山支援学校 学校運営協議会委員 8名 横須賀市立養護学校 学校運営協議会委員 5名	
次回開催予定日	令和8年2月17日(火)	
問い合わせ先	神奈川県立岩戸支援学校 副校長 小倉 裕之 Fax 046-849-3200 電話 046-839-4502	
下欄に掲載するもの	議事録	公開を概要とした理由
審議・会議経過	1 趣旨・要旨説明 <ul style="list-style-type: none"> ・3校間の情報共有、共通理解、連携協働など運営協議会の設置目的について確認をした。また、各委員の専門性を活かすというオープン参加の趣旨についても確認をした。 2 会長挨拶(佐藤 雅己 武山支援学校 学校運営協議会会长) <ul style="list-style-type: none"> ・本協議会も4回目となる。3校が一つになっているのを感じるとともに、課題も見えてきている。委員の専門性を生かした改善策を考えていきたい。 3 昨年度の協議内容の成果報告 (市立養護)支援教育について。トライアングルプロジェクトやセンター的機能として専門職の派遣などを実施している。 (武山支援)医療的ケアの通学支援について。高等部で通学支援を利用している生徒や希望をしている生徒がいる。看護師や事業所を見つけることが課題となっている。 (岩戸支援)就労支援について。夏季休業中に「企業と語ろう in いわと」を開催し、地域の保護者や学校から多数の参加があった。就労準備性について考える機会となった。 (意見交換)①センター的機能に係る地域の小学校で行った研修②通学支援と児童生徒の体調について意見交換が行われた。 4 協議(分科会) <ul style="list-style-type: none"> ・2つのグループ(A:支援教育、B:防災)に分かれて協議を行い、全体共有を行った。 (Aグループ)①スクールバスや移動支援の現状についての共有②インクルーシブ教育への取り組み③共生社会の担い手としての社会との関わりや経験について (Bグループ)①地区の訓練等の内容・課題等の共有②日常的な地域と学校の連携の必要性③地域資源と教育資源の活用 5 各機関からの報告・話題提供 <ul style="list-style-type: none"> ①医療的ケアに関する課題についての話題提供 ②横須賀市のサポートブックについての話題提供 6 講評(横倉 久 岩戸支援学校 学校運営協議会会长) <ul style="list-style-type: none"> ・中教審において、「社会モデル」の考え方を踏まえた協議が行われている。 ・医療的ケアの通学支援については、教育保障に加え、保護者支援の視点も加わってきている。 ・子どもを真ん中に置いて行っている好事例については、関係機関にも共有していくことが必要となる。 	